明るい小矢部
No.２０３
2019年10.11月号

発　行
日本共産党
小矢部市委員会
小矢部市七社 245
砂 田 喜 昭
TEL 67-4322
FAX 67-4842

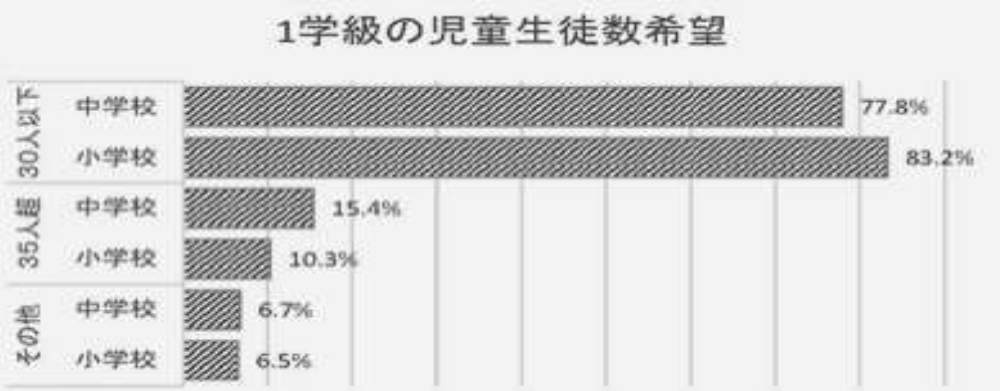
日本共産党発行
しんぶん赤旗
日刊●月3497円
日曜版●月930円

１学級の適正規模

３０人以下が圧倒的

市民アンケート

小矢部市が行った小中学校適正規模に関する市民アンケートによれば、小中学校とも学級規模は30人以下が圧倒的でした(小学校83・2％、中学校77・8％。グラフ参照)。この願いにこたえることこそ、行政の肝心な仕事です。



通学時間・距離「短く」が多数

通学時間・距離については、小学生のバス通学時間20分以内が63・3％で一番多く、30分以内も含めると94・1％と圧倒的でした。中学生の通学距離も5キロ以内が49・2％でした。

学校統合で教師数が激減、定数いっぱいの学級に

学級数や児童生徒数が少ない場合をどう考えるか」との設問で教師の役割について、教師の丁寧な指導を期待できる」が22％、児童生徒数や学級数の減少によって教師数が減ることへの不安」が21・6％でした。いずれの回答も教師の役割が大変重要だというものです。小規模校で教師を増やすには教員定数を改善し、増やすことです。

学校統廃合をすすめることは、少人数学級の実現や 教師を増やして」の願いに逆行します。4小学校を統合した魚津市で現実に起きていることは、統合前の教師数が63名から34名へ激減し、一学級の児童数が限りなく定数いっぱい(40人、35人)に近づきました。南砺市は4校で複式学級の導入が想定されるものの、全小中学校の統廃合はしない方針を議会で表明しています。静岡県三島市も公共施設の削減対象から学校を除外しているそうです。

学校の統廃合で市に莫大な借金が

小矢部市としても、統廃合をすれば、県下で先駆けて全校の耐震化を完了し、全普通教室にエアコンを設置してきたのに、複数の学校をつぶして新しく新築・改築のために、莫大な借金を背負わねばならなくなります。廃園となった石動幼稚園では壁、床木質化のための国補助金90５万円の内、492万円を返還します。統合こども園や学校統廃合でも国への補助金の返還も問題になるかも知れません。

県外からみた小矢部の良さ

おとぎの館図書室

おとぎの館図書室がなくなると聞いて若いお母さんたちから存続を求める声がつぎつぎと寄せられています。

今年の夏、小学校4年と3歳の男の子2人を連れて、小矢部に暮らす父のところに遊びにいきました。中でも今年の発見は「おとぎの館」でした。

子供のために設計された居心地のよい図書館

子どもと親たちの訪問を歓迎してくれる一階の本や雑誌のラインナップ、何より二階のとんがり屋根に広がる三つの空間「工作やお話、漫画に、思い切りひたれる空間」は、読書好き親子には天国でした。「おとぎの館」は、子どものために設計されたことが随所にわかる、とても居心地のいい図書館です。

小矢部へ移住を考えた矢先の移転に残念

子どもたちの成長を、図書館という場所でも支えてくれる小矢部という町は素晴らしい環境だと思い、小矢部に移住することも考えた矢先、ここが移転してしまうことを知りました。びっくりして、残念でなりません。この「おとぎの館」の良さを他市町村のそれとも比較して、それが分かっていて、されることなのでしょうか。

(東京在住のAさん)

おとぎの館図書室の存続を

おとぎの館図書室は22年前に国の補助金1億1601万円を受けて建設しましたが、法定耐用年数38年まで16年も残っています。おとぎの館図書室は、親子連れを中心に年間2万8678人(市民図書館5万3553人の54％)に利用されています。にもかかわらず議会の一部から 新図書館をつくるなら二つも図書館が要らない」といわれて、市は廃止する計画ですが、とんでもありません。

新図書館では、おとぎの館図書室の半分のスペースすら確保できません。子どもたちの夢を切り縮めて、小矢部市の未来に希望が開けるでしょうか。

消費税を5％に

日本共産党の提案を掲載した 赤旗」号外を折り込みました。ぜひお読みください。

ひろば

この夏、カナダに住む娘家族と カナダ大陸をRV車で横断。カルガリーからトロントへ、ロッキー山脈から地平線が続く大草原を5500キロ走った▼宿は国立か州立公園のキャンプ場。朝、晩、毎日トイレ掃除に複数の公務員がやってくる。 税金が高いから民間に任せろと言われないのか」と娘に問う。それを訴えて当選した首長も 労働組合が強いからできなかった」と。国民の暮らしを支える市民と労働組合のたたかいが花開いているのだ ▼カナダ国立人権博物館、非暴力でインドを独立に導いたガンジーの銅像が出迎えてくれた。特別展は南アフリカでアパルトヘイトとたたかって大統領になったマンデラ氏。 大権といっても他国のことばかり」と思ったら、そうではなかった。カナダが第2次大戦中、日系人を強制収用したことへの謝罪と反省も、堂々と展示していた▼ここが日本政府との違いだ。韓国の 徴用工」や 従軍慰安婦」問題で、一度は日本政府がアジア侵略や植民地支配への反省を口にしていたのに、安倍政権はそれをひっくり返した。愛知での 表現の不自由展」への補助金も打ち切った。市民と芸術家の批判で再開される運びとなったが、 表現の不自由展」は、 慰安婦」問題、天皇と戦争など、近年公共の文化施設で 排除」された作品を、展示不許可になった理由とともに展示したものだ▼香港でも表現の自由をめぐる市民のたたかいが続く。民主主義を守るのはいつでも、どこでも市民のたたかいだ。これがきっと新しい社会を生みだす。私は人権博物館で、 日本国憲法をくらしに活かす。東アジアの平和と共存のためにたたかう」とメッセージを記してきた。